

あなたの心に寄り添う 仙台傾聴の会



傾聴だより

企画・発行
NPO法人仙台傾聴の会
代表 森山 英子
携帯 090-6253-5640

謹んで台風災害のお見舞いを申し上げます。

このたび台風 19 号により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。宮城県も各地で甚大な浸水被害を受けました。一日も早い復旧、復興が進むことを心からお祈り申し上げます。

米 ミシガン大学院生 来仙



8 月 23 日、米ミシガン大学大学院で社会援助を学ぶマッシュウ氏が「傾聴と東日本大震災」について話を聞きたいと、当会を訪れ、仙台駅前の一室で、理事 8 名が対応しました。

仙台在住の通訳を伴い、ビデオカメラを持参で現れたマッシュウ氏は「傾聴」とはどのようなことをするのか、どんなエピソードがあるのか、「絆」とは何かなどを質問されました。

まず「傾聴」について説明し、当会の震災から 8 年半を振り返りながらの懇談になりました。震災後すぐに、宮城県医師会の依頼を受けて、避難所から入り、会員一丸となつての活動だったことを思い返しました。あの時の皆さんの多大な協力があつたからこそ、今の特定非営利活動法人仙台傾聴の会に繋がつたと感じています。

その後仮設住宅へ移り、現在の復興住宅集会所での「傾聴カフェ」の開催に至るまでの信頼関係を構築してきた話や、「傾聴音楽カフェ」「箱庭カフェ」「ランチ会」等の話、復興住宅等で暮らす被災者の状況、コミュニティ形成の課題等を話しました。

またマッシュウ氏によると今、日本で社会問題になっている「引きこもり」や「不登校」等は米国ではあまり見られないそうです。

そして「Keicho」は米国にはなく、日本特有のボランティアとして興味を持ったようです。

訪問の様子を撮影したビデオは米国で伝えるという事ですが、どのようなビデオになるのか楽しみにしています、と伝えその後、荒浜小学校へ出向くというマッシュウ氏に当会発行の「こころの復興」を手渡して別れました。

代表理事 森山英子

公開講座 「引きこもりへのアプローチ」

講師：東北大学大学院 准教授 若島 孔文氏

7月13日（土） 於：仙台市福祉プラザ

現在、引きこもりの高齢化、長期化が社会問題になっている事から大きな関心を集め、一般参加者も含め135名の方々に参加頂きました

「若島先生の講演から」

★ 引きこもり状況の維持要因を取り払う。

例えば日常的に生活を支えている母親が不在になると他の人間との接点が生まれる。

”特別な状況”から“特別な反応”が起こりやすい。また本人に手助けを頼み、その行動に感謝の気持ちを伝えるのもよい方法で、本人が動き出すきっかけになる。

★ 親は必死になるためか深刻化してしまいがちなので、親戚関係の適任者や相談機関など距離を置いた人と関わりを持つのが有効と思われる。

★ “父権の弱体化”が引きこもり問題の要因の一つと考えられる。

<参加した方々のご意見、ご感想です。>

※ 自分の至らなかった部分や一方向からの見方ではいけないこと、柔軟性を持って接してあげることが大切だと思いました。

※ 常識で考えるだけでは解決しない、技法よりも気持ちが大切だということがよく分かりました。

※ 状況を変えなければ変わらないということ、その為にはサポートするのではなく、されるという思いでお願いするということが必要という事を学びました。

（続編講演をのぞむ声もあります。）

仙台北支部 篠原美智子



公開講座 「こどものしつけと虐待について」

講師：元宮城県中央児童相談所長 山崎 剛氏

9月21日（土） 於：仙台市福祉プラザ

1 児童虐待の基本

虐待は子どもの乱用、性的虐待、体罰、心理的など。

2 最近の児童虐待事件から

事件の父親の言い分「しつけのため」。

3 体罰について

体罰は子供の自尊感情を下げ、子供自身落ち度があれば叩いてもいいのだという事を学ぶ。さらに見ている子供には深い心の傷を与える。

4 世界の体罰禁止法

今やしつけに体罰を用いるのは信じられない。日本は30年遅れている。

5 しつけについて

しつけには肯定語を使う。

現在日本では、児童虐待が年々増えているが体罰を減らすための最も効果的な方法は、親権者（親）による体罰禁止を盛り込んだ法の整備とキャンペーンを同時に行うことである。

今年、令和元年改正、児童虐待防止法ができ、来年施行の予定である。

しつける親の心の健康についても共感的に話を聞いてくれる人の存在、養育の苦労をわかってもらうこと、孤立しない、気分転換、休息、セルフケア、自分をほめること。また親が子どもに愛を伝える言葉、スキンシップ、一緒に時間を過ごす、これらの重要性を今一度考え、真剣に取り組むべきことが日本社会の課題と痛切に感じました。

仙台南支部 佐藤知子

岩沼・玉浦で ランチ会 開催

愛情たっぷりのとん汁、湯気の向こうに広がる笑顔。そんな楽しい催しが開かれたのは 7 月 24 日（水）岩沼 玉浦ランチ会です。

独り暮らしの高齢の方や家に引きこもりがちな方々にも参加して頂きたい。そんな思いから今年度、新たに開催された取り組みでした。参加者は全員で 50 名（うち会員 15 名）

ランチ会の前半は毎月の傾聴カフェ同様、合唱等。後半はみんなで食事をしながらのおしゃべりを楽しみました。

メニューは玉浦産新鮮野菜のとん汁、漬物、かぼちゃ煮と 3 種類のおにぎりでした。



参加された皆さんは「とても楽しかった」「どれもおいしかった」と好評でした。

次回開催は 11 月 27 日（水）。初めての方も大歓迎です。興味のある方はぜひご参加ください。一人でも多くの方に参加して頂き『会話で感じるふれあいの嬉しさ』を知って欲しい...そう願っています。

岩沼支部長 北村幸子



11 月期 養成講座お知らせ 傾聴ボランティア養成講座 in 蔵王

日時：11/17(日) 11/24(日) 12/1(日)

各 10:00 ～ 15:00 の 3 日間

会場：蔵王町社会福祉協議会（蔵王町大字十文字北 3-1）

参加費：無料

対象：蔵王町に在住又は勤務、その周辺にお住まいの方

講座内容

- 1 日目「傾聴の基本」「共感と受容」
- 2 日目「傾聴のスキル」「ロールプレイング」
- 3 日目「認知症」「コミュニケーションエクササイズ」

※持ち物：筆記用具、昼食（各自ご持参下さい）
動きやすい服装でご参加ください。

申込先：NPO 法人仙台傾聴の会

☎ 070 - 2025 - 8200



「子育て支援」 参加活動

中支部の子育て支援は、若林区の「輪っ！かばやし子育て応援団」という、市民と行政が共に子育て世代を支える活動の中の「育児サロン」を中心に活動しています。

育児サロンは保護者が安心して交流できる場の提供を目的にしているので、見守りが中心となりますが、交流のきっかけ作りをしたり、悩みを聞いたり傾聴スキルが活かされる場面も多くみられます。サロンに訪れた方の心が疲れた時に「傾聴の会」を思い出して頂けることを願いつつ、子供たちの笑顔に癒される活動を続けています。

仙台中支部 塩島 幸江



北海道胆振東部地震へ寄付金お礼

平成30年9月6日に発生した胆振地震へ皆様からの寄付や募金等、当会より5万円の寄付金をお渡ししました。「被災された方々の日常生活の再建に役立てていただけるようお届けします」と北海道厚真町長 宮坂尚市朗様からお礼文がよせられましたことをお知らせします。皆様の義援金ご協力、大変ありがとうございました。報告が遅れましたことをお詫びいたします。

傾聴サロン（対面での個別相談）

要予約 ☎090-6253-5640

仙台市福祉プラザ

第1土曜日 10:00～15:00

岩沼市総合福祉センター

第3水曜日 10:00～15:00

名取市市民活動支援センター

第3日曜日 10:00～15:00

塩釜市一番館、または旧公民館

第4日曜日 10:00～15:00

令和元年 傾聴の会 活動案内

傾聴カフェ（予約不要）

あすと長町市営住宅1F集会所

第1水曜日 13:30～15:00

あすと長町第2市営住宅1F集会所

第3月曜日 13:30～15:00

あすと長町第3市営住宅1F集会所

第3土曜日 13:30～15:00

田子西第二市営住宅1F集会所

第4金曜日 13:30～15:00

名取市文化会館（別館）希望の家

（来年1月より名取市増田公民館へ移行）

第2木曜日 10:00～11:30

名取市 美田園北集会所

第2水曜日 10:00～11:30

名取市 高柳集会所

第4金曜日 10:00～11:30

名取市 高柳東団地復興住宅（談話室）

第4月曜日 10:00～11:30

岩沼市たけくま集会所

第2木曜日 10:00～11:30

玉浦コミュニティセンター

第4水曜日 10:00～11:30

亘理町上浜集会所

第1金曜日 10:00～11:30

会 員 募 集

仙台傾聴の会のさまざまな事業や活動は、会員の方々の「誰かの役に立ちたい」という情熱と努力によって成り立っています。仙台傾聴の会の趣旨に賛同し、活動とともにできる方、または、応援してくださる方を募集しております。

- 正会員（傾聴ボランティアとして活動して頂ける方）
会費：3,000円/年（ボランティア保険を含む）
- 賛助会員（資金面で援助してくださる方）
会費：3,000円～/年 個人一口
5,000円～/年 団体一口

編集後記

猛暑続きの8月は熱中症を気にかけての生活でしたがその夏も終わりました。

ほっとしたのもつかの間、9月、10月は台風による被害で、改めて自然の猛威に驚くばかりです。

せめて行く秋に「日々是好日」を思いながら編集部一同、皆様と共に励んでいきたいと思ひます。

編集委員：大川、佐藤、篠原、志賀、嶋脇

電話での傾聴も受け付けています

ベテランの傾聴ボランティアが対応します。
個人情報を守ります。
ひとりで悩まず、お電話ください。
火・木・土9時～17時

☎080-3199-4481



NPO法人仙台傾聴の会

代表理事 森山 英子

〒981-1232

名取市大手町五丁目6-1 名取市市民活動支援センター内

☎090-6253-5640 / Fax022-343-9705



Eメール moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp

ホームページ <http://sendai-keicho.sakura.ne.jp/wp/>